

公益財団法人仏教伝道協会

令和 3 (2021) 年度事業計画書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、その目的を達成するため、定款に定める事業に沿って「令和 3 年度事業計画」を立案する。

1. 公益目的事業計画（公 1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の 2-1) から 2-3) までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 「仏教聖典」現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に仏教思想を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は 46 言語に及び、翻訳と共に既刊の「仏教聖典」をより現代に即した内容にするための改訂編纂に努めている。令和 3 年度は、インドの公用語であるカンナダ語・マラーティー語の翻訳作業並びに「和文仏教聖典」付録部分の改訂及び補完作業、エスペラント語の改訂作業を進める。

また仏教聖典副読本「さとの知恵を読む」のスペイン語訳を進め BDK メキシコから出版する予定である。

◇「仏教聖典」の普及について

世界の主要ホテルの客室に「仏教聖典」を寄贈常備する活動を行っている。

令和3年度は国内外のホテルへ約12,000冊（国内10,000冊、海外2,000冊）の寄贈を予定している。

仏教系学校および保育施設への聖典普及については継続してその頒布に努め、約28,000冊を予定している。また、病院、社会福祉施設、行刑施設、公共機関、海外協力機関等への寄贈活動も継続して行う。

更に令和3年度は国外への頒布として、前年度コロナ禍の為に延期したインドのチャッティスガル州ライプールの仏教徒にヒンディー語版5,000冊、英語版5,000冊の寄贈を予定している。

また、「仏教聖典」の副読本である『さとりの知恵を読む』は、仏教系学校および保育施設を中心に約20,000冊を寄贈する。

「仏教聖典」の一部を抜粋、編集した『ブッダのおしえ』は全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等への約73,000冊（日本語版50,000冊、各国語版23,000冊）の寄贈の他、本年度より施本として日本語版12,000冊の販売を予定している。

◇聖典ボランティアによるホテルへの寄贈活動の促進

全日本仏教青年会（略称：全日仏青）とは長く様々な活動を通じて交流を深めている。地域に根差した布教活動を実施している全日仏青等のメンバーに「聖典ボランティア」として仏教聖典のホテルへの寄贈活動の支援者として参画をお願いしている。すでに30名ほどが登録されている。

◇航空業界への「仏教聖典」頒布について

航空業界では機内にタブレット端末を導入する動きがあるが、「仏教聖典」PDF版をその端末にコンテンツとして導入してもらえるよう、ANAなどにアプローチをかける予定である。

◇『簡体字仏教聖典』中国国内頒布について

昨年度、中国にて印刷した『簡体字仏教聖典』1万冊の中国国内における頒布を中国仏教協会を通じて開始し、時機をみて増刷する。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏に向けての仏教精神の理解と普及のため、「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を日本の仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同事業として進めている。第一期分として全体量の約10分の1に相当する139典籍の翻訳・刊行を進め、これまでに米国仏教伝道協会より、91典籍61巻を刊行すると同時に、既刊典籍のPDFデータをHP上で公開し、英訳大蔵経の利便性・公共性を高めている。令和3年度も翻訳を進め、第62巻

目となる『辯中邊論 / 那先比丘經』等 3 冊の出版と公開、新刊毎に約 200 冊の国内頒布を予定している。

3. その他仏教書籍の出版、頒布に関する事項

仏教の精神文化の裾野を広げるためカレンダー・仏教書籍を制作、全国の寺院、学校、保育施設等へ頒布する。

◇「一日一訓カレンダー」の普及について

「仏教聖典」や古今の名言から文言を選び、日々の暮らしに仏教を活かすツールとして日めくりの「一日一訓カレンダー」を作成している。

令和 2 年度より新シリーズ「六波羅蜜」の刊行を開始しており、令和 3 年度は『一日一訓カレンダー—持戒—』として壁掛け版 125,000 部、卓上版 9,000 部の合計 134,000 部を印刷、国内外の寺院、ホテル、病院諸施設等を中心に販売・寄贈する予定である。なお、カレンダーに掲載する写真については、令和 2 年度の第 7 回フォトコンテストで入選した作品を使用する。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展の開催について

2014 年より「一日一訓カレンダー」の文言に併せて掲載する写真を広く一般から公募し、写真を通じて仏教に親しんでもらうためのフォトコンテストを実施している。

昨年度に引き続き、「第 8 回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」を開催し、「2023 年用一日一訓カレンダー（2022 年刊行）」に掲載する写真を公募する。

また 2020 年度「第 7 回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」入選作品の写真展を、4 月 24 日～6 月 13 日に東京・築地本願寺、6 月 25 日～9 月 26 日に京都・平等院ミュージアム、10 月 8 日～11 月 24 日に宮城・瑞巖寺にて開催する。

◇釈尊絵伝について

複製画及びパズルの販売・寄贈を継続する。

釈尊絵伝複製画及びパズルの販促のため、平等院 神居文彰住職による「釈尊絵伝の解説」を動画収録しホームページにて公開する。

また、2023 年(野生司香雪画伯没後 50 年)の「釈尊絵伝絵画展」開催に向けて準備を進める。

◇『釈尊絵伝すごろく煩惱』の制作・販売

子どもから大人まで幅広い世代に、み仏の教えをひろめるべく、お釈迦さまの一生を辿り、涅槃を目指していく「すごろく」を制作。要所に野生司画伯の絵伝を配置することで、絵画にも親しんで戴ける内容となっている。販売価格は 5,000 円（送料、消費税込）を予定。

◇『紙芝居ブッダ』について

全国約 3000 軒の図書館に向けて販売案内を送付する。

◇「みちしるべ」出版について

「一日一訓カレンダー」の文言を、より深く理解するための解説書として施本「みちしるべ」を出版している。令和 2 年度より六波羅蜜シリーズを開始、本年は 2 巻目となる『みちしるべ-持戒- よりよく生きる』を刊行する。執筆者は山川宗玄氏（臨済宗妙心寺派 正眼寺住職 正眼短期大学学長）、林田康順氏（浄土宗 大正大学教授）、白川密成氏（高野山真言宗 栄福寺住職）の 3 名。寺院を中心に約 43,000 部を頒布する予定である。

◇「こころの絵本大賞」開催と大賞受賞作発刊について

読み聞かせを通じて、子どもたちに「こころ」の大切さを伝えたいという願いのもと、第 6 回「こころの絵本大賞」の公募を実施する。大賞受賞作品には 50 万円の賞金贈呈し、令和 4 年 3 月を目処に書籍化、年度内に仏教系保育施設を中心に 4,200 冊を頒布する予定である。

また令和 2 年度第 5 回「こころの絵本大賞」大賞受賞作品の『がまぐちさん』の頒布を推進する。寺院を中心に約 22,000 部を頒布する。

◇「ブッダがせんせい」翻訳について

和文累計発行部数約 310,000 部となり、英文訳も大好評を博している『ブッダがせんせい』だが、他にも「自国語に翻訳して欲しい」と多くの声が寄せられている。海外協力機関を通じての頒布を視野にいれ、まずはドイツ語・スペイン語に翻訳する。

◇「はじめての仏教」頒布・翻訳について

初心者向け図書として仏教の歴史や宗派、身近な仏教用語などを簡潔に解説した『とってもやさしい はじめての仏教』は全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等への約 64,000 冊（日本語版 45,000 冊、各国語版 19,000 冊）の寄贈の他、本年度より施本として日本語版 12,000 冊の販売を予定している。

また訪日観光客や BDK メキシコ・BDK アメリカでの活用を視野に入れ、英語版を元としたスペイン語版を作成し、7,000 冊を頒布する。

◇新規書籍企画

令和 4 年度の発刊に向け、新規書籍の企画を推進する。寺院向け施本、また一般販売可能な書籍の作成を目指す。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

奨学生が自国に戻り日本で学んだ仏教精神とその文化を広く伝えていただきたいとの願いから、日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

令和3年度奨学生の募集は、令和2年9月1日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約150通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、11名の申請があった。

令和3年2月8日に外国人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の2名が選ばれ、令和3年度外国人留学生奨学金の支給を実施する。

受給者①

氏名：Iris Lixin Zhang (張 藍心：ジャン・ランシン)

国籍：中国

日本での所属機関：京都大学

指導教授：吉川真司 先生

研究内容：「往生伝」を中心に平安時代における念誦、言霊と文学文化を研究。

受給者②

氏名：Simona Lazzarini (シモナ・ラッゼリーニ)

国籍：イタリア

日本での所属機関：早稲田大学

指導教授：山部能宜 先生

研究内容：生髮鬼形鬼子母神像の研究。

◇日本人留学生奨学金制度について

平成25年度から日本人の学者や研究者が海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学び、将来世界のこの分野で大きく貢献してくれることを期待して日本人留学生奨学金制度を設けている。

令和3年度奨学生の募集は、令和2年7月1日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約150通送付。ホームページで一般公募を行い、1名の申請があった。

令和3年2月8日に日本人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の1名が選ばれ、令和3年度日本人留学生奨学金の支給を実施する。

<1年留学支援>

受給者①

氏名：小坂有弘（こさか・ありひろ）

海外での所属機関：ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所インド学チベット学研究室（ドイツ）

指導教授：Michael Zimmermann 先生

研究内容：チャンドラキールティの二諦説解釈。

◇「奨学金留学生交流会」開催について

例年、来日中の外国人奨学生およびその指導教授と、これから留学するまたは既に留学を終え帰国した日本人奨学生を招き、互いの研究内容を共有し、交流を深めていただくための「奨学金留学生交流会」を開催していたが、新型コロナウイルスの世界的な感染状況を鑑みて中止とする。

2. 顕彰事業に関する事項

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教精神、仏教文化、仏教学術及び布教伝道など仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、また今後のさらなる活躍を願い表彰する賞として昭和42(1967)年に創設された。

長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞（賞金500万円）」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞（賞金300万円）」を授与する。

令和3年度は10月14日（木）に贈呈式の挙行を予定している。4月初旬より国内外の仏教各宗派、大学等の教育機関、研究機関、仏教団体、報道機関、政府機関及び専門家等に推薦依頼状を送付、「仏教伝道文化賞」及び「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」の推薦を受け、7月29日（木）に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、令和3年度の受賞者を決定する。

3. 助成事業に関する事項

当協会の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当協会の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行う。助成にあたっては、外部有識者や専門家からなる助成金審査委員会のもと、公正な審査を経て選定、助成する。

令和3年度助成対象 {令和2年度募集分、交付時期（2021年4月～2022年3月）} を審査するため、令和3年1月25日に助成金審査委員会が開催され、審議の結果、下記の団体にそれぞれ助成金を交付することが決定し、令和3年度は国内総額で19,710,000円、海外は2,200,000円、CAD\$240,000、£30,000、€111,000の助成を実施する。

A. 団体支援助成

団体名	申請事業名称
日本印度学仏教学会	情報化対応を介した国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
特定非営利活動法人 鎌倉てらこや	大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業
フリースタイルな僧侶たち	仏教フリーペーパー「フリースタイルな僧侶たち」の発行、Web、イベント開催事業

B. 事業支援助成：B-1 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業名称
公益財団法人全国教誨師連盟	教誨師研修事業
H1 法話グランプリ実行委員会	H1 法話グランプリ 2021
一般社団法人 Project Gamon	仏教を楽しむ情報誌「わげんせ」発行事業
公益社団法人大谷保育協会	保育心理士資格取得講座
島根県仏教会	第45回全日本仏教徒会議島根大会

B. 事業支援助成：B-2 仏教学術振興活動

団体名	申請事業名称
公益財団法人中村元東方研究所	2021年度 研究調査事業
公益財団法人日独文化研究所	日独の四つの研究所が共催するワークショップ「仏教とキリスト教の〈自然〉概念」
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2021年度 秋季特別展「アジアの女神たち」 (仮称)

B. 事業支援助成：B-3 仏教文化財保護活動

団体名	申請事業名称
東京藝術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室	調査・修復・模刻を通じた仏教彫刻文化財を守る人材育成事業

C. 沼田仏教講座運営維持・新規開設支援助成

令和3年度助成対象には申請無し。

助成金分割交付分

団体名	申請事業名称
SOAS, University of London (ロンドン大学東洋アフリカ研究 学院・イギリス)	沼田仏教学教授ポスト設立事業
Hamburg University Numata Center for Buddhist Studies (ハンブルク大学沼田仏教学セン ター・ドイツ)	沼田仏教学センターの充実化事業
Leiden University (ライデン大学・オランダ)	沼田仏教講座活動助成
McMaster University (マクマスター大学・カナダ)	沼田仏教講座設立事業
Chengchi University (国立政治大学・台湾)	沼田仏教哲学プログラム設立事業
University of Vienna (ウィーン大学・オーストリア)	沼田仏教講座活動助成
エトヴェシュ・ローランド(ELTE) 大学仏教研究センター (ハンガリー)	東アジアにおける普賢菩薩の総合研究—文献学や 図像学の調査に基づいて
野生司香雪画伯顕彰会	サールナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保 全事業
身延山大学	ラオス・ルアンパバン世界遺産仏像修復技術者育 成プロジェクト実施事業

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教聖典を初歩英語で学ぶ会について

英語を通して仏教精神を学ぶことを目的とし、平成 23 年より「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開講。

平成 28 年度より外国人観光客の増加に向けて寺院等で英語によるガイドができる人材育成に貢献することを目的とした「Buddhist English Guide プログラム」を、ケネス・田中氏（武蔵野大学名誉教授）とケアリー・田中氏（英語音声学研究者）の二人を講師に迎えてスタートした。

令和 3 年度は 3 級コースおよび 2 級コースにて、英語を交えながら仏教を学ぶカリキュラムを実施する。尚、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、全回オンライン講座として開講する。各コースは月 1 回開催し、3 級コースは定員 80 名、2 級コースは定員 45 名とする。新たなプログラム構築のため、3 級コースは令和 3 年度で終了する。（参加費 3 級、2 級とも 10,000 円）

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年 1 回 2 泊 3 日にて実践布教研究会を開催しており、現在までにその開催実績は 49 回を数える。

令和 3 年度は 5 月 12 日(水)から 5 月 14 日(金)まで、第 50 回実践布教研究会として天台宗 総本山比叡山 延暦寺を会場に「比叡山の仏道～回峯行に学ぶ」をテーマに開催する。また、研究会での講演内容（映像）を編集し、ホームページにて公開する予定。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的として、「仏教聖典」を基本教材に、毎月 1 回(原則、第 4 火曜日、午後 1 時 30 分から午後 3 時まで)専門家の講師を招き、「仏教聖典を生活に活かす会」(全 10 回)を主催運営する。講師は、名取芳彦氏(真言宗豊山派密蔵院住職)と前田壽雄氏(武蔵野大学准教授)。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、おもに事業経営者や社会人を対象に「仏教聖典」を基本教材に、毎月 1 回(原則、第 4 金曜日、午後 6 時から 7 時まで)専門家の講師を招き、「仏教聖典を経営に活かす会」(全 10 回)を主催運営する。講師は、一楽真氏(大谷大学教授)と千葉公慈氏(東北福祉大学学長)。尚、11 月には、日本仏教への理解を深めると同時に参加者同士の交流をはかることを目的に、「仏教聖典を生活に活かす会」の参加者と合同で、寺院等を訪問し、研鑽する「秋季研修会」を開催する。

◇BDK シンポジウムの開催について

平成 25 年 4 月から、一般の方がたに、より仏教文化、仏教精神の素晴らしさを広く知っていただく機会を提供する為、シンポジウムを企画、実施している。

令和 3 年度は、BDK シンポジウムとして下記の開催を企画する。なお、いずれも会場参加とオンライン参加を同時開催する。

開催日程	テーマ	講師
10 月 20 日（水）	仏教伝道文化賞受賞者講演 「今、ここを生きる あなたに ～信心の社会性く仏教が現代 に提言できること（仮）」（札 幌開催） ※2020 年 7 月 20 日（月）に開催予定で あったが、新型コロナウイルス感染拡大 防止の為延期としたもの。	藤田徹文氏 第 53 回仏教伝道文化賞受賞者
時期調整中 ※9 月予定	「どうなる仏教-アフターコ ロナ時代のお寺のありかたど は(仮)」	（講師候補） 鶴飼秀徳氏 正覚寺副住職/ジャーナリスト ※対談相手検討中
11 月 6 日（土）	「宗教の未来を話そう 2021-コロナのその先にみえ るもの(仮)」	（講師候補） 奥田知志氏 東八幡キリスト教会牧師/ 認定 NPO 法人抱樸理事長 吉水岳彦氏 光照院住職/ひとさじの会事 務局長 田ロランディ氏 /小説家
時期調整中 ※2022 年 2 月下旬予 定	「女性と仏教(仮)」	講師検討中

（参加費 各回会場参加・オンライン参加とも 2,000 円）

◇BDK 仏教ヨガ講座の開催について

平成 27 年度より、健康や美容という視点のみに焦点が当てられていたヨガを、釈尊が実践していた修行体系（呼吸法）の一つであることに戻り、法話を聞きヨガを行う「仏教ヨガ講座」を開催してきた。

令和 3 年度からは高野山真言宗僧侶でもあるヨガインストラクターの MOMO 氏を講師とし、法話を聞きヨガと瞑想を実践する講座を毎月第 1 水曜日（午後 7 時 00 分から午後 8 時 30 分まで）に開催する。なお会場参加とオンライン参加を同時開催する。（参加費 会場参加・オンライン参加とも 1,000 円）

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

平成 28 年度より、仏教の基本的な知識に触れることの少ない方を対象とし、日本仏教の各宗派の基本的な教義や宗祖について学ぶ、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を開催している。

令和 3 年度は、仏教伝道センタービル 8 階「和」の間を会場とし、会場参加とオンライン参加を同時開催する。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

開催日程	テーマ	講師名
4 月 27 日（火）	天台宗・最澄	木内堯大 氏（大正大学特任准教授）
5 月 25 日（火）	真言宗・空海	名取芳彦 氏（真言宗豊山派密蔵院住職）
6 月 29 日（火）	浄土宗・法然	林田康順 氏（大正大学教授）
7 月 27 日（火）	浄土真宗・親鸞	井上見淳 氏（龍谷大学准教授）
9 月 28 日（火）	日蓮宗・日蓮	山口顯辰 氏（日蓮宗池上本門寺学監）
10 月 26 日（火）	臨済宗・栄西	松本隆行 氏（臨済宗建長寺派能満寺住職）
11 月 30 日（火）	曹洞宗・道元	吉村昇洋 氏（曹洞宗普門寺副住職）

（定員 会場 30 名、オンライン 100 名）

（参加費 会場参加・オンライン参加とも 1 回 1,500 円、通年 9,100 円）

（講義時間 18:30～20:30 の 120 分）

なお、令和元年度に引き続き、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を経て、もう少し深く学びたいという方に向けた仏教初心者講座”特別編“を企画、開催する予定である。

◇「特別坐禅会」の開催について

平成 28 年度からはじまり、平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年と 4 度にわたり坐禅とヨガを組み合わせた「特別坐禅会」を曹洞宗大本山総持寺にて開催した。（令和 2 年度は中止）

令和 3 年度も坐禅、ヨガ、精進料理、諸堂拝観の体験を通じて仏教に触れてもらうため引き続き総持寺において開催する。今回はヨガ講師に日本のヨガ界の第一人者として活躍するケン・ハマクラ氏を招き、また曹洞宗僧侶の藤田一照氏よりご講話をいただく。（参加費食事付き 7,000 円、食事なし 4,500 円）

◇「体感する仏教 ～目黒編～」の開催について

「様々な宗派のお寺で仏教の実践を体験する」をコンセプトに企画した「体感する仏教 ～目黒編～」を2021年11月に開催する。五百羅漢寺での念仏体験、目黒不動尊での護摩行体験を予定している。

◇連続仏教講座「世界の仏教を学ぶ」の開催について

令和元年度より、世界各国の仏教を学ぶ連続仏教講座「世界の仏教を学ぶ」を当協会ビルにて開催している。令和3年度は、パートⅡとして全7回（4月～10月/月1回。タイ・ラオス・カンボジア・インドネシア・ベトナム・ミャンマー・マレーシア）にわたり、南伝ルートの各国の仏教を学ぶ講座を、仏教伝道センタービル8階「和」の間を会場とし会場参加とオンライン参加の同時開催にて開催する。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

開催日程	テーマ	講師名
4月22日（木）	タイ	矢野秀武 氏（駒澤大学教授）
5月27日（木）	ラオス	池上要靖 氏（身延山大学仏教学部長教授）
6月17日（火）	カンボジア	笹川秀夫 氏（立命館アジア太平洋大学教授）
7月29日（木）	インドネシア	木村敏明 氏（東北大学教授）
8月26日（木）	ベトナム	石井公成 氏（駒澤大学教授）
9月16日（木）	ミャンマー	藏本龍介 氏（東京大学東洋文化研究所准教授）
10月28日（木）	マレーシア	黄蘊 氏（尚絅大学准教授）

（定員 会場 30名、オンライン 100名）

（参加費 会場参加・オンラインとも1回1,500円、通年9,100円）

（講義時間 18:30～20:30の120分）

◇FM大阪ラジオ企画について

若年層へのアプローチと仏教伝道協会の知名度の拡大をはかるため、関西圏をカバーするFM大阪にて、平成30年度より放送を開始したラジオ番組「サタデーナイト仏教」（毎週土曜日深夜24:15から15分間）を令和3年度も継続する。

月替わりで僧侶（偶数月）と若手芸人や著名人（奇数月）をゲストに迎え、仏教をわかりやすく伝える。

◇「輝け！お寺の掲示板大賞2021」の開催について

お寺の掲示板の標語の写真を撮影し、TwitterやInstagramに投稿してもらい、受賞作品を決定する「輝け！お寺の掲示板大賞2021」を開催する。第4回目となる令和3年度も仏教メディアなどの協力を得ながら、7月1日～10月31日まで作品を募集し、12月6日に受賞作品を発表する。

◇鳥根県仏教会主催 全日本仏教徒会議鳥根大会ブース出店について

令和3年10月1日(金)～2日(土) 鳥根県民会館にて、鳥根県佛教会主催、公益財団法人全日本仏教会共催にて第45回全日本仏教徒会議鳥根大会が開催される。全日本仏教会加盟団体、鳥根県仏教会加盟・未加盟寺院、檀信門徒、一般市民が参加する同大会にBDKブースを出展し、他団体等との交流を図り、仏教伝道協会の活動を周知するとともに、活動理解協力者発掘の一助とする。

◇オンライン法話会「週刊法話ステーション」について

コロナ禍によりお寺でのさまざまな行事が中止や延期を余儀なくされ、仏教に触れる機会が減少している現状を受け、仏教伝道の原点のひとつである“法話”を広く一般の方がたへお届けするため、ZOOM配信を使用し毎週、僧侶に法話をいただくオンライン法話会「週刊法話ステーション」を令和3年1月より開始した。令和3年度もこれを継続する。

◇広報活動について

各開催講座やイベント等の情報はホームページ、メールマガジン、Facebook等のSNS、チラシなどを利用し、広く一般に情報を発信し、受益の機会を開くものとする。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、仏教音楽にちなんだコンサートや、新しい仏教音楽の作品募集などを行っている。

令和3年度は、音楽普及委員会を1回開催する予定。

3. 三田落語会の事業について

昨年度に続き、協賛団体として、3公演分の協賛広告費を支出する。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行う。当協会が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常(一般)は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常(一般)価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献する。

II. 収益事業計画（収1）

◆収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を令和2年度も継続して行い、利益のうち50%を公益目的事業に寄付する予定である。

III. その他

本事業計画に掲げるもののほか、この法人の目的達成のため、必要と認める事業を行う。

以 上